

統合型・法務AIエージェント「Legal Brain エージェント」が 日本最難関試験「司法試験予備試験の論文式」で 「最上位合格水準※1」

～ 汎用AIを全10科目で上回り、伊藤塾の採点・評価では500点満点中 375点～

弁護士ドットコム株式会社（東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO・弁護士：元榮 太一郎、以下「弁護士ドットコム」）が提供する統合型・法務AIエージェント「Legal Brain エージェント」が、2025年度司法試験予備試験の論文式試験に回答したところ、500点満点中 375点※2を獲得したことをお知らせします。

本答案は司法試験受験指導校大手、合格者数でも業界を牽引する「伊藤塾」を運営する株式会社法学館による採点の結果、「最上位合格水準※1」の評価を受けました。また、メジャーな汎用AIモデルと比較したところ、全10科目で上回る結果となりました。

※1：「最上位合格水準」という評価は、今回の採点結果である375点に対して、株式会社法学館の長年の指導実績と独自の採点基準に基づく見解です。法務省が公表する公式な成績や順位を示すものではありません。

※2：本試験の採点基準は公表されていないものであり、また公式得点は、受験者全体を対象とした採点格差調整を経て算出されます。本リリースの375点（伊藤塾の採点による点数）と、公式の得点・順位を直接比較するものではありません。また、司法試験予備試験の合格認定は法務省のみが行うものであり、本リリースは公式の合格を示すものではありません。

統合型・法務AIエージェント「Legal Brain エージェント」

日本最難関「司法試験予備試験の
論文式」で「最上位合格水準」※

※本試験の公式得点は、受験者全体を対象とした採点格差調整を経て算出されます。本リリースの375点（伊藤塾の採点による点数）と、公式の得点・順位を直接比較するものではありません。また、司法試験予備試験の合格認定は法務省のみが行うものであり、本リリースは公式の合格を示すものではありません。

LegalBrain Agent

弁護士ドットコム

■ 概要

司法試験予備試験は、法科大学院を経ずに司法試験の受験資格を得るための試験です。司法試験自体の合格率が例年40～45%程度であるのに対し、予備試験の合格率は3～4%前後にとどまる極めて難易度の高い国家試験です。2025年度司法試験予備試験の論文式試験の最終合格率は3.6%※3でした。その中でも10科目ある「論文式試験」は高度な論理的思考が問われます。そのため、答案の採点には専門的な判断を要し、AIの実力を客観的に評価することは困難でした。

そこで「Legal Brain エージェント」の論述能力を客観的に可視化すべく、外部の専門機関である株式会社法学館に採点を依頼したところ、「最上位合格水準※1」の評価を獲得しました。なお、司法試験予備試験の論文式試験について、外部の専門機関による採点を経て合格水準と評価されたAIの事例は、国内で初めての事例※4となります。

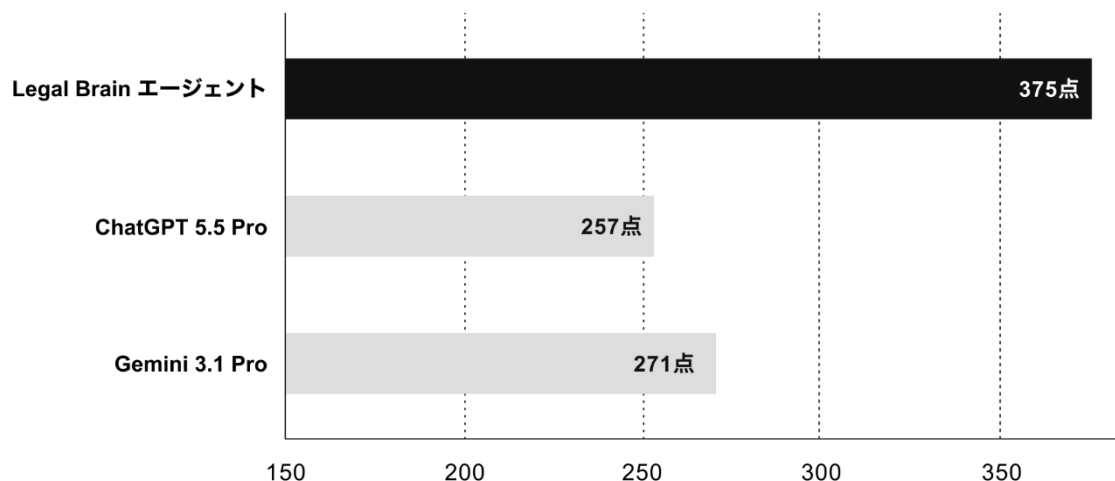
※3：法務省「[令和7年司法試験予備試験の結果について](#)」より算出

※4：「論文式」において外部機関の採点を経て、合格水準と評価された公表事例として国内初（2026年6月時点、当社調べ）

■ 全10科目で汎用AIモデルを上回り、「優秀」5科目・「不良」0科目を達成

同一の出題・同一条件のもとで、メジャーな汎用AIモデルの回答も同時に採点したところ、「Legal Brain エージェント」は全10科目において汎用AIモデルを上回る結果となりました。

司法試験予備試験論文式（2025年度）



さらに、法務省が公表する公式の採点基準（答案の質的評価の区分）に当てはめると、「Legal Brain エージェント」は10科目中5科目で最高評価「優秀」を獲得し、最低評価「不良」は0科目という結果となっています。同様の採点基準で汎用AIモデルを採点したところ「優秀」は0～1科目にとどまっています。

弁護士ドットコム

■ 背景：高精度な情報検索に加え、論述構成・法的思考に対応

「Legal Brain エージェント」が高度な論文式試験に対応できる背景には、以下の要素があります。

- **独自のナレッジデータベース**：法令・判例・法律書籍などの関係性を意味づけして構造化した独自データ基盤「Legal Graph（リーガルグラフ）」をもとに回答を生成。過度な補完や推論を避け、常に出典に裏付けられた回答を出力しています。
- **弁護士による品質の継続改善**：現役弁護士で構成された専任チームが、回答の正確性・論点網羅性を継続的に検証。「意図の取り違い」「不正確な情報」など問題の種類まで特定し、独自の法的思考アルゴリズムも活用しながら、原因究明から修正・テストまでのサイクルを回し続けています。
- **統合型・法務AIエージェント**：相談内容の整理・壁打ち・リサーチ・文書作成まで、幅広い業務に対応するAIエージェントです。対話の文脈を理解し、論点やリスクなどを押さえながら法務業務を伴走します。

■ 検証方法

本検証の概要は以下の通りです。

- ・ 回答対象：2025年度司法試験予備試験 論文式試験 計10科目／各4枚以内 （選択科目：倒産法）
- ・ 回答方法：Legal Brain エージェント、メジャーな汎用AIモデル2種のそれぞれに問題文テキストを入力し、回答の出力を指示
- ・ 採点者：株式会社法学館（伊藤塾）
- ・ データの取扱い：「Legal Brain エージェント」の参照データベースには、本試験の模範解答および受験者の再現答案は含めていません。

■ 今後の展望

今回の論文式検証は、正答率96.5%（175点中169点）を記録し、受験者の最高得点を上回った2025年度司法試験「短答式」に続く第2弾の精度検証です。今回の結果は単なる問題を解く能力ではなく、論文式で問われる「条文・判例を正確に参照し、事実当てはめ、論理的な結論を導く」という思考プロセスが可能となったことを示しています。

当社は、これら2つの検証で得られた知見を基盤に、AIの精度のさらなる改善と、法律書籍・判例データなどのコンテンツ拡充を継続します

法務実務における検索・分析・判断のすべてのプロセスをより高速かつ正確に支援し、AI技術の進化を通じて「誰もが信頼できる法的知識へアクセスできる社会」の実現を推進してまいります。

弁護士ドットコム

■ 株式会社法学館（伊藤塾） コメント

「今回の結果、『Legal Brain エージェント』の進化を改めて実感することになりました。本試験とは採点基準や受験条件が異なるため単純比較はできませんが、AIが予備試験論文式試験でこの成績を収めたことは特筆すべき成果だと思います。この『Legal Brain エージェント』のような高性能のAIを使いこなす法律家は、その高度な専門性と判断力を今まで以上に発揮できるようになるでしょう。もっとも、AIの力を最大限に引き出すためには、揺るぎない基礎的な法律知識と論理的思考力が不可欠です。私どもとしても、新たな時代におけるプロフェッショナルな法律家を目指す受験生の皆様に対し、その『盤石な基礎』を築いていただくべく、サポートの必要性を改めて感じる機会となりました。」

■ アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 門永 真紀氏 コメント

「単なる知識検索を超え、事実関係に即した論理構成という法務実務の核心において、これほどまでに高い性能が示されたことは、リーガルAIの本質的な可能性を明確に示すものです。Legal Brainが今後、法律家の知見と高度に融合しながら、法務実務の品質と効率を一段と高める基盤へと進化し、さらなる技術革新と社会実装の広がりを実現していくことを強く期待しております。」

■ 弁護士ドットコム株式会社 LegalBrain事業本部 Head of Product 稲垣 有二 コメント

「このたびは、伊藤塾様のご協力のもと、貴重な機会をいただき、大変ありがたく思っております。『Legal Brain エージェント』は、『法務のプロを、AIで支える』というコンセプトのもと、回答の正確性を最も意識しながら開発をしてきました。専門性の高い法務の領域では、生成AIにどうしても一定の誤りが入り込みやすく、専門家の方々からも『間違いが紛れ込むことへの不安がある』というお声を多くいただきました。」

『Legal Brain エージェント』は、信頼できる法務データベースに基づいて回答を生成し、その根拠を明示することで精度を高める設計とすることで、専門家の皆様に安心してお使いいただけることを目指しています。弁護士や法務部門の皆様にとって、より頼れるツールとなれるよう、これからも機能の拡充と精度の向上に努めてまいります。」

弁護士ドットコム

■ Legal Brain エージェントとは



「Legal Brain エージェント」は、弁護士ドットコムが独自開発したリーガルAI技術基盤「Legal Brain（リーガルブレイン）」を搭載した、弁護士・企業法務担当者向けの統合型・法務AIエージェントです。法令・判例・ガイドライン・法律専門書籍・BUSINESS LAWYERS（ビジネスロイヤーズ）記事といった信頼性の高い文献のみを根拠に、すべての回答に引用・原典参照を付して返す設計思想が、汎用AIとの本質的な差別化要因となっています。

サービスサイト：<https://legalbrain.com/>

■ 弁護士ドットコムについて

本社 | 東京都港区六本木四丁目1番4号 黒崎ビル
設立日 | 2005年7月4日
代表者 | 代表取締役社長 兼 CEO・弁護士 元榮 太一郎
上場市場 | 東京証券取引所プライム市場
事業内容 | 「プロフェッショナル・テックで、次の常識をつくる。」をミッションに掲げ、国内弁護士の60%以上が登録する日本最大級の法律ポータルサイト「弁護士ドットコム」を運営。税務相談の「税理士ドットコム」、契約マネジメントプラットフォーム「クラウドサイン」、統合型・法務AIエージェント「Legal Brain エージェント」など革新的なサービスを展開。
URL | <https://www.bengo4.com/corporate/>

弁護士ドットコム

本件におけるお問合せ先

弁護士ドットコム株式会社 広報担当

所在地 | 〒106-0032 東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号

T E L | 03-5549-2854

F A X | 03-5549-2565

E-Mail | info-press@bengo4.com